

金の卵40人再会誓ったゴルフスーパースター

日本 1つの日か世界で



「奮闘をたええたい、握手を交わす両チームのキャプテン」

タイチーム男子主将は昨年、宇喜多飛翔は「2年連続の参加だったが、日本チームが連覇できて、キャプテンの重責を果たせたい」と笑顔。また、同女子主将の大役を任せられた工藤未望(東北高2年)は「思ったよりタイの選手はうまかった。私自身は100点中10点の出来です」と日本チームの勝利にも自身のプレーには厳しい採点をつけた。

タイチーム男子主将は昨年、に続いてジェムダコーンが務めた。一タイチームの欠けているのは戦略。今年は個人の力プラス戦略で勝ちたい」と、試合のぞんだが惜しくも勝利ならぬ。同女子主将のヒカリ(愛称)は「昨年は選手として参加し、日本選手と再び対戦できたことに感謝。負けました。最後のステップにしたいです。最後はさわやかな笑顔で握手を交わした。」

「健闘たたえた」

両国の選手を引っ張ったキャプテン同士がお互いの健闘をたたえた。握手を交わした。タイチーム男子主将は昨年、に続いてジェムダコーンが務めた。一タイチームの欠けているのは戦略。今年は個人の力プラス戦略で勝ちたい」と、試合のぞんだが惜しくも勝利ならぬ。同女子主将のヒカリ(愛称)は「昨年は選手として参加し、日本選手と再び対戦できたことに感謝。負けました。最後のステップにしたいです。最後はさわやかな笑顔で握手を交わした。」

「観光楽しんだゾウ」

タイ市内を観光し写真。寺院でタイ仏教に触れたり、エレファントパークで象に乗ったりした。なかでも多くの学生は「象に乗ったのは初めて。いい経験が出来ました」とタイならではの体験に満足していた。

「選手コメント」

岡部開斗(午前は敗れるも午後は勝利)「4ホールでは油断してしまっていた」

鈴木千貴(マッチプレーでは相手キャプテンと激突も見事勝利)「タイの選手はショートゲームがうまかった」

村尾優一(夏の選手権優勝チームメンバー)「タイの選手はパターがうまい」

赤石拓斗「想像以上にタイの選手の技術・精神力はすごかった」

鈴木隆太「今日はパターが良かった」

高橋遠羽(タイのキャプテンとラウンド)「技術の差を感じました」

石川夢香「タイの選手はみんな気さくで楽しかった」

郡山瞳(タイの選手に笑顔に)「日本でも笑顔でいられるようにしたい」と思っています

島袋ひの「相手はパーターがばばん入っていた」

長阪綾苗「本さんと助け合い勝利できました。100点満点です」

永嶋花音「タイの選手と言葉を教え合い楽しくラウンドできた」

本明夏「長阪さんとのチームワークで勝てました」

「開会式に宮里誠志プロ、タレント石田純一さんも」

ISPS HANDA 平成30年度(第2回) 全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会が12月10日から13日、沖縄県名護市のカヌチャゴルフコースで行われた。夏の全国大会、個人戦上位者となった夏地区、沖縄県から推薦された男女計64人が参加。男子の部は久常涼(岡山県作陽高1年)が夏の個人戦に続き、全国V2を達成。女子は安田祐香(滝川二高3年)が仁井優花(大院大高1年)との関西対決を制し優勝した。

ベスト8以下の選手で行われたスクランブルの部は、男子は24歳を獲得した前田光史明(作新学院高3年)と長谷川貴徳(各務原高2年)組が優勝。女子は和久井麻由(代々木高3年)と長谷川せら(各務原高1年)組が35歳で優勝した。

また、開会式には地元・沖縄県出身の宮里聖志プロとタレントの石田純一さんが来場。出場者にエールを送った。

▼各地区から選抜された男女64人が熱い戦いを繰り広げた

「第2回日泰親善ジュニアゴルフ遠征 日本2連覇」

【主催】一般社団法人日本高等ゴルフ連盟(以下高ゴ連)とタイ国政府観光庁大阪事務所(以下TAT大阪) 学校ゴルフ連盟タイ国政府観光庁

【協力】タイビバレッジ社、タイゴルフ場協会、タイ国際航空、タイエアロエンジェルスほか

【参加】タイビバレッジ社、タイゴルフ場協会、タイ国際航空、タイエアロエンジェルスほか

【結果】日本チーム 12.5 VS 5.5 タイチーム

【選手コメント】

岡部開斗(午前は敗れるも午後は勝利)「4ホールでは油断してしまっていた」

鈴木千貴(マッチプレーでは相手キャプテンと激突も見事勝利)「タイの選手はショートゲームがうまかった」

村尾優一(夏の選手権優勝チームメンバー)「タイの選手はパターがうまい」

赤石拓斗「想像以上にタイの選手の技術・精神力はすごかった」

鈴木隆太「今日はパターが良かった」

高橋遠羽(タイのキャプテンとラウンド)「技術の差を感じました」

石川夢香「タイの選手はみんな気さくで楽しかった」

郡山瞳(タイの選手に笑顔に)「日本でも笑顔でいられるようにしたい」と思っています

島袋ひの「相手はパーターがばばん入っていた」

長阪綾苗「本さんと助け合い勝利できました。100点満点です」

永嶋花音「タイの選手と言葉を教え合い楽しくラウンドできた」

本明夏「長阪さんとのチームワークで勝てました」

【マッチプレー成績】		【4ボール方式成績】	
日本チーム	スコア	タイチーム	スコア
○鈴木 千貴(日本城高2年)	2アップ	T.VICHAINARONG C.JANYASAWAT	3アンド2
○大谷 元気(興国高2年)	4アップ	P.PHALOSILP P.SAMNGAMNOI	3アンド2
○鈴木 隆太(埼玉栄高1年)	5アップ	C.JANYASAWAT	3アンド2
○赤石 拓斗(八戸工大高1年)	1アップ	J.KUMSING	4アンド3
○岡部 開斗(佐野日大高2年)	1アップ	P.SONGKLOD T.SUWANPRATHEEP	2アンド1
○高橋 赤石(札幌光星高1年)	1アップ	N.THANGJITPREEDANON S.SONGKLOD	3アンド2
○宇喜多 飛翔(関西高2年)	1アップ	S.LUANGNAM P.PONLAMUANGDEE	2アンド1
○村尾 優一(埼玉栄高2年)	7アップ	Y.KHAWNUNA P.SISUTHAM	2アップ
○郡山 瞳(東北高2年)	2アップ	J.KHOTCHAGRAI Y.KUNKAEW	1アップ
○本 明夏(開志国際高2年)	引き分け	PIM-ORN THITISUP J.PHONGTHANACHALITKUN	1アップ
○永嶋 花音(日章学園高2年)	2アップ	J.RITTAWEE K.PRUKMATHAKUL	3アンド2
○工藤 未望(東北高2年)	引き分け		
○長阪 綾苗(京都翔英高2年)	引き分け		
○石川 夢香(今治明德高2年)	5アップ		
○島袋 ひの(宜野座高2年)	引き分け		
○岡田 樹花(滝川二高1年)	引き分け		
○魚見 萌桃(岡山理大附属高1年)	1アップ		
○安井 愛(南松尾が野学園中2年)	3アップ		

「第2回日泰親善ジュニアゴルフ遠征 日本2連覇」

【主催】一般社団法人日本高等ゴルフ連盟(以下高ゴ連)とタイ国政府観光庁大阪事務所(以下TAT大阪) 学校ゴルフ連盟タイ国政府観光庁

【協力】タイビバレッジ社、タイゴルフ場協会、タイ国際航空、タイエアロエンジェルスほか

【参加】タイビバレッジ社、タイゴルフ場協会、タイ国際航空、タイエアロエンジェルスほか

【結果】日本チーム 12.5 VS 5.5 タイチーム

【選手コメント】

岡部開斗(午前は敗れるも午後は勝利)「4ホールでは油断してしまっていた」

鈴木千貴(マッチプレーでは相手キャプテンと激突も見事勝利)「タイの選手はショートゲームがうまかった」

村尾優一(夏の選手権優勝チームメンバー)「タイの選手はパターがうまい」

赤石拓斗「想像以上にタイの選手の技術・精神力はすごかった」

鈴木隆太「今日はパターが良かった」

高橋遠羽(タイのキャプテンとラウンド)「技術の差を感じました」

石川夢香「タイの選手はみんな気さくで楽しかった」

郡山瞳(タイの選手に笑顔に)「日本でも笑顔でいられるようにしたい」と思っています

島袋ひの「相手はパーターがばばん入っていた」

長阪綾苗「本さんと助け合い勝利できました。100点満点です」

永嶋花音「タイの選手と言葉を教え合い楽しくラウンドできた」

本明夏「長阪さんとのチームワークで勝てました」

「開会式に宮里誠志プロ、タレント石田純一さんも」

ISPS HANDA 平成30年度(第2回) 全国中学校・高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会が12月10日から13日、沖縄県名護市のカヌチャゴルフコースで行われた。夏の全国大会、個人戦上位者となった夏地区、沖縄県から推薦された男女計64人が参加。男子の部は久常涼(岡山県作陽高1年)が夏の個人戦に続き、全国V2を達成。女子は安田祐香(滝川二高3年)が仁井優花(大院大高1年)との関西対決を制し優勝した。

ベスト8以下の選手で行われたスクランブルの部は、男子は24歳を獲得した前田光史明(作新学院高3年)と長谷川貴徳(各務原高2年)組が優勝。女子は和久井麻由(代々木高3年)と長谷川せら(各務原高1年)組が35歳で優勝した。

また、開会式には地元・沖縄県出身の宮里聖志プロとタレントの石田純一さんが来場。出場者にエールを送った。

▼各地区から選抜された男女64人が熱い戦いを繰り広げた